

全 員 協 議 会

令和7年2月21日
午前10時開議
301会議室

協 議 事 項

- 1 組合議会の報告について
（石川県市町村消防賞じゅつ金組合議会）
（石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合議会）
（南加賀広域圏事務組合議会）

- 2 行政視察の報告について
（新幹線・観光誘客特別委員会）
（スポーツ推進特別委員会）

- 3 納税相談中のトラブルに関する対応について

- 4 （仮称）次世代型産業パークの候補地について

- 5 その他

委員会開催報告

(1月22日から2月21日まで)

1 常任委員会

(1) 総務経済委員会 (2月13日 午前10時から)

- ・令和7年度組織及び所掌事務の見直しについて
- ・令和6年度加賀市職員採用候補者試験の結果について
- ・「第3期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略(案)」の策定状況について
- ・「加賀市版ライドシェア」の運行区域の拡大と運行時間の延長について
- ・介護事業所におけるデジタル技術を活用した買い物支援サービスの調査事業について
- ・令和6年1月～12月の観光入込客数について
- ・その他

(2) 教育民生委員会 (2月14日 午前10時から)

- ・加賀市福祉こころまちプラン2025(素案)について
- ・加賀市こども計画(素案)について
- ・その他

2 特別委員会

(1) 新幹線・観光誘客特別委員会 (2月13日 午後1時から)

- ・全天候型広場施設工事に伴う歩行動線の変更について
- ・その他

(2) スポーツ推進特別委員会 (2月14日 午後1時から)

- ・中学校部活動の地域移行について
- ・施設に関する優先課題について
- ・その他

(3) 議会活性化特別委員会（2月13日 午後1時45分から）

- ・早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査への回答案について
- ・議員向けハラスメント研修について
- ・大聖寺実業高校からの提言書について
- ・「地方議会の議員活動のあり方及び自治体の政策に関する市区議員調査」について

新幹線・観光誘客特別委員会行政視察報告

1月30日から31日にかけて、委員8名、執行部1名、事務局随行者2名で、三重県多気町・滋賀県東近江市を視察してまいりました。

■三重県多気町

【ヴィソンについて】

多気町は、三重県のほぼ中央に位置する山あいにある町で、人口は約1万4千人です。

令和3年に多気町にオープンした「ヴィソン」は、約119 ha（東京ドーム24個分）の広大な敷地に、飲食店、産直市場、宿泊施設、温浴施設、農園、木育広場など約70店舗が集結するリゾート型複合商業施設です。また、全国初のスマートインターチェンジ直結の民間施設として認可されています。

このような施設を誘致できた経緯は、事業主が施設の開業地を探していたところ、多気町が伊勢神宮と熊野古道の中継地にあり、その観光客を取り込めること、強固な地盤と高台であることから震災に強いこと、松阪牛の一大産地でもあり食を生かした地域振興に取り組んでいること、シャープ三重工場などの企業誘致が評価

されたことなどの複合的な要素から、多気町が選ばれたとのことでした。

多気町における開業効果としては、雇用の創出、地元産品の卸先となつていくこと、ヴィソンがメディアで取り上げられることで町のPRにもつながっていることなどが挙げられるとのことでした。

しかしながら、ヴィソンと連携した事業展開が十分にできていないことや、ヴィソンに寄って帰ってしまうお客さんいかに町内を周遊してもらうかについてが課題であるとのことでした。また、三重県は全体的にインバウンド客が少ないことから、町としてもインバウンド誘客にはまだ着手できていない状況にあるとのことでした。



ヴィソン（多気町）

〜ヴィソン 現地視察〜

施設内にはナシヨナルチェーン店も自動販売機もなく、地域にしかない

ものを活用した店舗が多いため、地域おこしに一役買っています。また、広大な敷地内では自動運転バスが運行されており、未来型リゾートとしても注目されています。

加賀温泉駅前計画されている未来型商業地整備事業に対し、大いに参考になりました。

■滋賀県東近江市

【観光誘客施策について】

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、人口は約11万人です。近代日本経済の礎を築いた近江商人の発祥地として知られています。

（こかしやうこんどう）

五個荘金堂地区には、近江商人の屋敷が多く保存され、日本遺産及び重伝建に選定されています。時代絵巻行列やひな人形めぐりなどのまち歩きイベントを行い、誘客促進を図っているとのことでした。ほかにも、屋敷を宿泊研修施設として改築したり、駅舎を整備したりと、受入環境の整備にも力を入れているとのことでした。

また、臨済宗永源寺派の大本山「永源寺」のPR動画が、昨年「クルジャパンアワード」でグランプリを

受賞したことを機に、インバウンド対策にも取り組んでいるとのことでした。

東近江市はもともと観光都市ではなく、一時的な集客よりも、今ある地域資源を磨くことで、「また来たい」、その先には「住んでみたい」につながることを目指した観光施策を推進しているとのことでした。

〜五個荘金堂地区 現地視察〜

白壁の屋敷や塀が続ぎ、用水路には錦鯉が泳ぎ、昔ながらの美しい町並みが残されています。

加賀市の重伝建地区や城下町再生、歴史的建造物の活用等に対し、大変参考になりました。



五個荘金堂の町並み（東近江市）

■視察を終えて

加賀温泉駅周辺施設の魅力や利便性向上、インバウンド需要拡大など、北陸新幹線延伸開業効果を最大限に生かすための施策・課題への取組に、今回視察した内容を役立てていきたいと思います。

スポーツ推進特別委員会行政視察報告

1月16日から17日にかけて、委員8名、事務局随員2名、執行部1名の合計11名で、兵庫県姫路市、兵庫県芦屋市を視察してまいりました。

■兵庫県姫路市

「手柄山スポーツ施設整備運営事業について」

姫路市では、手柄山中央公園の園内施設の課題として、施設の著しい老朽化、JR新駅の整備構想への対応、文化センターの移転対応などの複合的要素があり、園内施設の再配置を中心とする中長期的な整備方針「手柄山中央公園整備基本計画」を平成29年1月に策定しました。

その整備基本計画の整備方針を軸とした手柄山スポーツ施設整備基本計画を策定し、その計画に基づいて手柄山スポーツ施設の整備を進めています。第1期として令和8年9月末を目標に公園の西北部エリアに新体育館と市民プールを整備中であるとのことでした。

また、コンセプトとゾーニングを計画内で再策定することで時代に即した施設配置を行っているとのことでした。

の整備構想への対応などがあり、今後の本市における取組の参考になるものと感じました。

■兵庫県芦屋市

「芦屋市スポーツ推進実施計画について」

芦屋市では、芦屋市スポーツ推進実施計画について調査しました。

芦屋市はスポーツを取り巻く環境の変化に対応しながら、「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」を推進し、すべての市民がスポーツを楽しむことができる環境を創ることを目指して計画を策定し、さらなるスポーツの普及促進を目指しているそうです。

そのための施策の一環としては、10月を体力づくり強調月間に定め、様々なスポーツ行事を民間団体と行っており、参加者へは景品を配布するなどし、スポーツ参加の意識啓発を行っているとのことでした。

また、ふるさと納税を原資としたスポーツ活動助成金を制定し、市が定めたスポーツ大会へ出場した個人・団体への助成を行っているとのことでした。

健康者、障がいのある人、子どもから老人まで、誰もがスポーツに親

しむことのできるような仕掛けを行っているとのことでした。



兵庫県芦屋市

■視察を終えて

今回の視察先は、財政・人口規模が加賀市より大きく、ただちに取入れることは難しい点も多々ありましたが、アイデア次第で参考にできるものもあり、工夫を加えながらスポーツ推進に取り組む姿勢を学ぶことができました。

今回の視察で学んだことを踏まえ、加賀市における市民とスポーツとのあり方や施設整備について役立てたいと思います。



兵庫県姫路市

加賀市と姫路市の共通の課題として、施設の大規模改修、新駅周辺

(仮称) 次世代型産業パークの候補地について

人口減少対策が喫緊の課題である本市において、市民の安定した働く場を確保するために産業の集積や企業誘致を推進しています。

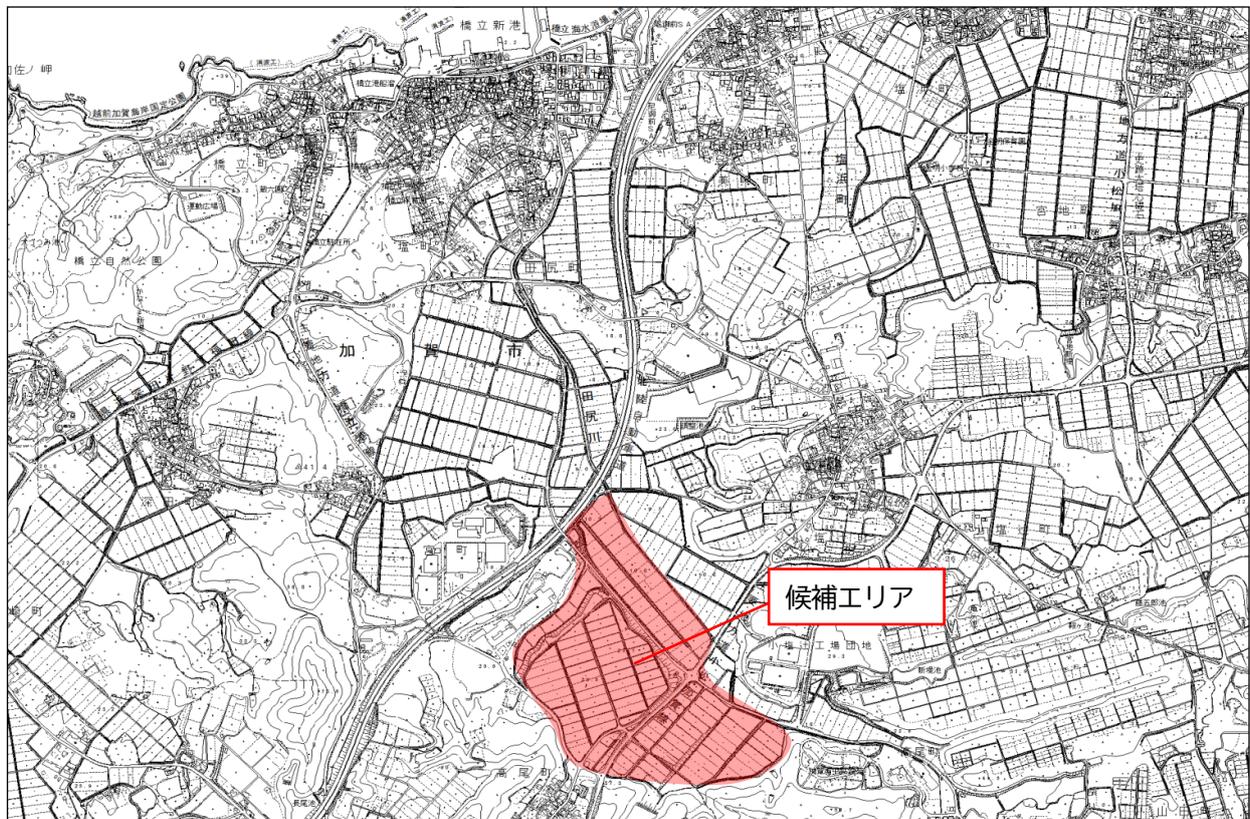
片山津インター産業団地の拡張整備等の製造業を中心とした工場集積を図っておりますが、さらなる産業集積として、次世代型産業パークの整備を次のとおり進めます。

【次世代型産業パークの適地】

これまで、適地調査（用排水やインフラ、法規制、候補地など）や地質調査を実施、地元町内会や関係機関等との協議を経て、高尾町の農地を中心としたエリアを次世代型産業パークの適地とした。

【今後のスケジュール】

地権者等の地元理解や誘致企業、農振除外等の関係機関との協議により進めていきます。



次世代型産業パーク候補地エリア（約50ha規模）